

ボルグワーナー、発電ソリューションで データセンター市場に戦略参入

革新的で持続可能なモビリティソリューションを提供するグローバル製品リーダーのボルグワーナー（NYSE: BWA/本社：アメリカ合衆国ミシガン州アーバンヒルズ、社長兼最高経営責任者：ジョセフ・ファドゥール/ Joseph Fadool）は、フルスタック型データセンターインフラ開発企業 Endeavour（エンデバー）の子会社である TurboCell（ターボセル）と、高度にモジュール化されたタービン発電機システムの供給に関するマスター供給契約を締結したと発表しました。

当社は、タービン発電機システムが AI 主導による次世代データセンター需要およびその他のマイクログリッド用途に向けた革新的な発電ソリューションになると見込んでいます。また、従来型発電に代わる高出力電源への需要拡大に対応するものと考えています。タービン発電機システムは、ギガワット規模の AI キャンパスを支える用途での導入が予定されています。

ボルグワーナーは、タービン発電機システムの市場投入に向けて TurboCell と 3 年以上にわたり共同開発を進めており、以下の特長を備える予定です。

- バックアップ電源および常用電源を含む多様な用途への適応性
- 高度な制御技術および電力変動や系統ピークに対応する動的応答性能
- 将来のカリフォルニア州大気資源局 (CARB) の排出基準、もしくはそれ以上に厳しい排出基準への適合見込み
- 天然ガス、プロパン、ディーゼル、水素など柔軟な燃料への対応

本技術は、ボルグワーナーが有する以下の中核技術を活用しています。

- 世界水準のターボチャージャー技術
- 熱マネジメント技術
- パワーエレクトロニクス技術
- 高度なソフトウェア制御
- 高速回転電動技術

生産は 2027 年に米ノースカロライナ州ヘンダーソンビルで開始される予定で、初期導入容量は 2 ギガワットを見込んでいます。

TurboCell 製品は、Endeavour の Edged Infrastructure ソリューション部門を通じて独占提供されます。

ジョセフ・ファドゥール(ボルグワーナー社長兼 CEO)コメント

「本製品は、ボルグワーナーのチームが成長機会を主体的に捉え、実行していることを象徴するイノベーションです。ハイパースケーラーやコロケーション事業者を含むデータセンター市場、さらにその他のマイクログリッド用途における電力品質およびエネルギーニーズに対応できると期待しています。本タービン発電機システムは、さらなる収益成長の機会を切り拓くと考えています。従来型発電と比べ、優れた過渡応答性能、燃料の柔軟性、低排出フットプリントを実現し、ブリッジ電源およびバックアップ電源の双方における BTM(ビハインド・ザ・メーター)電力市場の需要にも対応可能です。クリーンでエネルギー効率の高い世界の実現に向け、TurboCell との連携を楽しみにしています」

ヤコブ・カーネマーク(Endeavour 創業者兼 CEO)コメント

「ボルグワーナーとのパートナーシップは非常に有意義なものであり、Endeavour の最先端イノベーションと、ボルグワーナーの自動車分野で培われた大規模エンジニアリングおよび製造実行力を融合できることを嬉しく思います。TurboCell システムは、AI インフラ開発を加速させるために必要な、需要変動に即応する動的電力供給を目的として開発しました。ボルグワーナーのグローバルサプライチェーンと実証済みの技術力を活用し、AI コンピューティングの可能性を最大限に引き出す次世代オンサイト電源を提供していきます」



ボルグワーナー、発電ソリューションで
データセンター市場に戦略参入

ボルグワーナーについて

ボルグワーナーは、130年以上にわたり、モビリティのイノベーションを成功に導く、変革的なグローバル製品リーダーであり続けています。すべての人にとってよりクリーンで健康的、かつ安全な未来を築くために、世界のeモビリティへの移行を加速させています。

URL: <https://www.borgwarner.com/home>

TurboCellについて

TurboCellは、AI時代に特化して設計された初の電力プラットフォームです。迅速な導入と高い拡張性を備え、送電網接続(グリッド・インターコネクト)の遅延という課題を克服するとともに、単一のソリューションで即時の常用電源およびバックアップ電源を提供することで、データセンター電力インフラの長期的価値を引き出します。ハイブリッドDCアーキテクチャと高品質な電力供給により、AIクラウドプロバイダーが動的に進化するAIワークロードの需要に対応できるよう支援します。

TurboCellはEndeavourのグループ企業です。詳細はwww.turbocell.comをご覧ください。

Endeavourについて

Endeavourは、AI時代に向けて建築・インフラ環境の再定義を目指すインフライノベーション企業です。同社は、データセンターインフラをより迅速かつ俊敏に進化させるとともに、気候変動や水不足といった地球規模課題への大規模ソリューションへと転換する革新的技術の創出および投資を行っています。これらの技術は統合システムとして機能します。同社の「Edged」データセンタープラットフォームは、業界で最も効率的かつ拡張性の高いAIインフラを提供します。また、「ThermalWorks」冷却プラットフォームおよび「TurboCell」電力プラットフォームは、AIの成長を支えながら、送電網の安定化と水資源の保全に貢献します。Endeavourは単なる環境負荷の最小化にとどまらず、地域資源を回復させ、世界規模の価値を創出する再生型システムの構築を目指しています。詳細はwww.endeavourii.comをご覧ください。

本リリースには、経営陣の現在の見通し、期待事項、試算、推定に基づく1995年米国私募証券訴訟改革法(Private Securities Litigation Reform Act)で想定された、将来予測に関する記述が含まれている場合があります。「見込む」、「考える」、「継続する」、「可能性がある」、「目的とした」、「影響」、「試算する」、「評価する」、「期待する」、「予測する」、「目標」、「指針」、「取り組み」、「意図する」、「場合がある」、「見通し」、「計画する」、「潜在的」、「予見する」、「推定する」、「追求する」、「目指す」、「すべきである」、「目標とする」、「の場合」、「でしょう」、「かもしれない」、およびこれらの語句の変化形や類似のものは、かかる将来予測に関する記述であることを意図しています。さらに、本リリースに含まれる、または参照する形で盛り込まれる、歴史的事実に関する記述を除く、当社の財務状況、事業戦略、および当該戦略を実施するための方策(事業の変更、競争力、目標、事業およびオペレーションの拡大・成長、計画、将来の成功への言及、その他の事項を含む)に関する、当社が将来発生すると期待または見込むすべての記述は、将来予測に関する記述です。最近提出されたフォーム10-K(「Form 10-K」)年次報告書の第7項「重要な会計方針および試算(Critical Accounting Policies and Estimates)」に記載されているような会計上の試算は、性質上、将来予測に基づくものです。すべての将来予測に関する記述は、当社の経験、当社の歴史的動向に関する解釈、現在の状況、予想される将来の展開に関する認識、および現況において適切と考えられるその他の要因に照らして当社が行った仮定および分析に基づいています。将来予測に関する記述は業績を保証するものではなく、当社の実際の業績は、将来予測に関する記述において表現、推定または示唆されたものとは大きく異なる可能性があります。

本リリースの発行日現在における事柄を述べたものであるこれらの将来予測に関する記述を過度に信頼すべきではありません。将来予測に関する記述はリスクや不確実性を伴うものであり、その多くは予見困難であり、一般的に不可抗力によるものであるため、実際の結果は将来予測に関する記述で表明、予測、または示唆されているものとは大きく異なる可能性があります。これらのリスクおよび不確実性の代表的な例として、次のものがあげられます。当社または当社の顧客に影響を及ぼす供給の混乱、商品の入手可能性および価格設定、ならびにこれらのコストに関する顧客との交渉において期待されるレベルの回収率を達成できないこと; 受託製造会社(OEM)の顧客を含む既存および新規の競合他社による競争上の課題; 急速に変化する技術、特に電気自動車に関連する技術的課題、およびそれに対応する当社の技術革新能力; 電気自動車に対する需要および電気自動車の売上成長を予測することの難しさ; 戦争やその他の地政学的紛争によって引き起こされる世界経済の潜在的な混乱; 適切な条件で買収対象を特定し、買収を完了する能力; 買収によって期待される利益を適時に実現できない可能性; 2023年に旧燃料系システム部門とアフターマーケット部門を非課税分社化して別個の株式公開企業としたことによる意図した

利益が得られない可能性; 取得事業を迅速かつ効率的に一体化できない可能性; 取得事業に関する未確認または推測不能な債務の可能性; 自動車およびトラック生産への依存性(いずれも景気に大きく左右され、混乱の影響を受けやすい); 大手OEM顧客への依存性; 一部のOEM顧客における将来的なストライキの影響および当該OEM顧客の対処法; 金利および外国為替レートの変動; 情報システムへの依存性; 世界的な経済環境の不確実性; 様々な申し立てに関する訴訟を含む既存または将来の法的手続き、または関連する訴訟を含む政府による調査の行方; 当社が事業を行っている国における税金や関税を含む法律や規制の将来的な変更; 将来起こりうる買収または譲渡による影響; 当社が証券取引委員会に提出する報告書(直近のForm 10-Kおよび/またはForm 10-Qの第1A項「リスク要因」)に記載されたその他リスク、など。当社は、期待事項の変更または記述の根拠となる事象、条件、状況、仮定の変更を反映するために、本発表文に含まれる将来予測に関する記述のいずれかを更新する、または更新・改訂内容を公表する義務を負いません。

<報道に関するお問い合わせ>

ボルグワーナー広報事務局 中込、浜辺

TEL: 090-7739-3601(中込)、080-2032-2924(浜辺)

EMAIL: borgwarner-pr@kyodo-pr.co.jp